

2018(平成30)年度 基礎研修Ⅲ 開催要項

◇ねらい◇

社会福祉士として必要な知識・技術をふまえた、実践の展開を理解する。

◇到達点◇

1. 社会福祉士としての権利擁護実践の基礎を理解する。
2. ソーシャルワークの理論をふまえた援助システムを理解する。
3. 地域福祉システムと実践の関係を理解する。
4. 事例研究の基礎を理解する。
5. スーパービジョンを体験する。

◇受講対象者及び受講費◇

①2014(平成26)年度～2017(平成29)年度に基礎研修Ⅱを修了された方 受講費 21,000円

②2014(平成26)年度以降に基礎研修Ⅲを受講し、一部科目を未受講の方 受講費 不要

◇基礎研修テキストについて◇

2018年度基礎研修Ⅲでは、日本社会福祉士会が発行している下記テキストを使用します。

「基礎研修テキスト上・下巻 2015年4月13日発行分」

「基礎研修テキスト(スーパービジョン) 2015年4月27日発行分」

(受講を希望される方で、上記テキストをお持ちでない方は **別途** 購入して頂く必要があります。)

「基礎研修Ⅲワークブック 2018年度改訂版」

(基礎研修Ⅲの初日に会場で配布する予定です。)

※別途テキストの購入が必要な方は事務局生涯研修センターまでお問い合わせください。

◇受講および修了条件◇

1. すべての日程、科目を受講できること(2014年度以降の基礎研修Ⅲ一部科目未受講者は除く)
※日程通りに科目を受講しなければ、次の科目に進むことができません。(基礎研修Ⅲを修了できません)
2. 提示された課題(事前課題、事後課題)を期日までに提出すること
※期日までに課題の提出ができなければ、次の科目に進むことができません。
※課題によっては、その内容を評価し、基準に満たさない場合は、再提出を求めるものもあります。
(再提出は1回までであり、その際に基準を満たさない場合、修了できません)
3. 遅刻、早退、欠席をしないこと。
※15分以上の遅刻、早退は、欠席となります。

◇受講申し込み方法◇

- ①受講申込書に必要事項をご記入の上、2018年4月16日（月）までに、FAXか郵送にて申し込み下さい。
 - ②受講申込日までに受講費をご入金下さい。入金確認次第、受講申込受理と致します。（キャンセルされても返金はいりません）。
 - ③申し込み締め切り後、受講決定通知書をお送りいたします。2018年5月1日（火）までに届かない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。
- ※受講費は、指定口座にお振込み下さい。（振込手数料は自己負担にてお願いします）

◇受講費振込先◇

受講費振込先：福岡銀行 博多駅前支店
普通預金 3078404 シャ)フクオカケンシャカイフクシシカイ

◇事前学習、事前課題、事後課題（修了評価）◇

事前学習や課題提出が必要な科目があります。

1. 事前学習

レポート提出は不要ですが、当該科目を受講する前に基礎研修テキストに目を通し学習をして下さい。

2. 事前課題

提示課題に沿って、レポートをまとめ、当該科目を受講する前（もしくは当日）までに、レポートを提出して下さい。期日までにレポートの提出がなければ、当該科目を受講することができません。

3. 事後課題（修了評価）

当該科目受講後、提示課題に沿って、レポートをまとめ、期日までに、レポートを提出して下さい。期日までにレポートの提出がなければ、当該科目を修了できません。また、レポート内容が不十分な場合も修了できません（1度だけ再提出を認めます）。

◇開催日に受講ができない場合の取り扱い◇

原則として、別紙に定める日程にて受講していただきます。

基礎研修Ⅲは、認定社会福祉士となるための一つの単位として認証を受けており、日程通りに研修を受けていただく必要があります。

例えば、3日目の研修は、1日目と2日目の研修を終えていなければ受講することができません。受講できなかった科目は、次年度以降受講していただくこととなります。ただし、別の科目は受講することができます。

◇九州・沖縄各県で開催される基礎研修Ⅲへの受講◇

福岡県社会福祉士会では、基礎研修Ⅲの受講について、九州・沖縄各県で開催している同研修の相互乗入ができるようにしています。やむを得ない理由で、本県の開催日と一部日程が合わない場合には、九州・沖縄各県で開催している同研修に3回まで振替受講することができます。

ただし、日程によっては、本県開催のカリキュラムと順番が合わず、受講できない場合もありますので、他県の受講を希望される場合には、早めにお問い合わせください。

尚、他県において一部科目の受講をする場合、事務手数料が発生します。（他県の開催日程などに関しましては、事務局にお問い合わせください。）

◇基礎研修Ⅲ日程◇

別紙

※予定であり、日程やプログラムが変更となる場合もございますのでご了承下さい。

※2日目のみ土曜日開催となっておりますのでご注意ください。

開催回	開催日時	予定開催場所	科目	テーマ
1日目	5月13日(日) 9:30~17:00	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	実践評価・ 実践研究系科目Ⅰ	○対人援助と事例研究 ○事例研究の基本枠組み ○事例研究の方法としてのケースワーカー
事前 課題 ↓	<p>①事前課題 ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 提出期限：6月9日(土)持参 ★基礎研修Ⅱ集合研修1で実施した、ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ「実践事例演習」を改めて振り返り、「社会福祉援助の展開過程」をふまえた上で、自らが現在実践している事例のうち1つを、書式に沿って、A4用紙1~2枚程度にまとめてください。</p> <p>事例の作成に当たっては、個人の要素・組織内での連携・地域連携の視点を考慮し、まとめてください。作成した課題は、実践事例演習Ⅱ報告会で、全員に発表していただきます。現在、実務についておらず、過去に実践をしていたことのある方は、過去の実践を改めて振り返り、課題を作成してください。</p> <p>今までに一度も実践経験のない方については、実践モデルのうち一つを選び、展開過程に沿って、必要とされる「価値・知識・技術」について、1200字以内にまとめてください。実践モデルは、別紙の参考『新社会福祉援助の共通基盤』上巻P ~ を参考にしてください。作成した事前課題は、研修当日「7部」持参してください。そのうち1部は研修当日、受付で提出していただきます。</p>			
2日目	6月9日(土) 9:30~17:00	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	実践評価・実践研究 系科目Ⅰ ソーシャルワーク理 論系科目Ⅰ	○事例研究のための事例のまとめ方 ○実践事例演習Ⅱ
↑ 中間 課題	<p>①中間課題 実践評価・実践研究系科目Ⅰ 提出期限：6月29日(金)(メール・郵送必着) ★「事例研究のための事例のまとめ方」「事例の経過記録」：指定のフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめてください。 ※実践事例がない者への課題の検討(後日、日本社会福祉士会より示される。)</p>			
↑ 事後 課題	<p>①事後課題 ソーシャルワーク理論系科目Ⅰ 提出期限：7月16日(月)(メール・郵送必着) ★①実践事例演習で、他のメンバーから確認されたことを整理してください。 ②新たに確認できた、自らの実践における課題をあげてください。 ③自らの実践を改めて振り返り、ソーシャルワークの理論と実践を結びつけることの重要性について、学んだことを記載してください。</p>			
3日目	7月15日(日) 9:30~17:00	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	実践評価・ 実践研究系科目Ⅰ	○模擬事例検討会
↑ 事後 課題	<p>②事後課題 実践評価・実践研究系科目Ⅰ 提出期限：8月27日(月)(メール・郵送必着) ★「事例研究のための事例のまとめ方」「事例の経過記録」：指定のフォーマットに基づいて自身の実践事例をまとめてください。 中間課題を集合研修で相互評価してもらったうえで推敲してください</p>			
事前 課題 ↓	<p>②事前課題 権利擁護・法学系科目Ⅰ 提出期限：8月26日(日)持参 ★事前学習の資料を読み、事前課題のレポートを提出する。 「意思決定の支援の必要性」についてのあなたの考えを、ホームレスを例に挙げて1,200字程度にまとめてください。その際、「判断能力、アセスメント、エンパワメント」という言葉を必ず用いてください。</p>			
4日目	8月26日(日) 9:30~17:00	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	権利擁護・ 法学系科目Ⅰ	○意思決定の支援
↑ 事後 課題	<p>③事後課題 権利擁護・法学系科目Ⅰ 提出期限：9月28日(金)(メール・郵送必着) ★①自分が対応する「意思決定の支援が必要な対象者」を想定し、 ②「意思決定の支援の必要性」の判断根拠を示したうえで、 ③想定される支援のプロセスを2,000字程度でまとめてください。</p>			

開催回	予定日程	予定開催場所	科目	テーマ
事前課題 ↓	②事前課題 地域開発・政策系科目 I 提出期限：9月9日（日）持参 ★所属組織が所在する自治体で策定している地域福祉計画を読み、あなたが支援している利用者を想定しながら、 (ア)地域福祉計画等などの部分が、利用者の生活にどのように関係しているか。 (イ)実際に支援する場合、利用者に対する支援にどのように活用できるか。 (ウ)利用者に対する支援と地域福祉計画等を結び付けて考える場合に課題となりそうなことはなにか。について、各項目を含め（1,200～1,500字）にまとめてください。			
5 日目	9月9日（日） 9：30～17：00	クローバープラザ 501 研修室 （春日市）	地域開発・ 政策系科目 I	○地域における福祉活動の実際 1
↑ 中間課題	②中間課題 地域開発・政策系科目 I 提出期限：12月9日（日）持参 ★①あなたが現在、支援している利用者、あるいは過去に支援していた利用者を想定しながら、ヒアリングシートを記入してください。 ★②①で作成したヒアリングシートをもとに、企画シートを作成してください。その際、企画シートの下段にある事後課題の欄は空欄のままにしてください。			
6 日目	9月23日（日） 9：30～17：00	クローバープラザ 501 研修室 （春日市）	サービス管理・ 経営系科目 I	○社会福祉の組織と組織マネジメントの意義 ○情報共有・継続の仕組み、サービス評価
7 日目	10月28日（日） 9：30～13：00	クローバープラザ 501 研修室 （春日市）	サービス管理・ 経営系科目 I	○リスクマネジメント、苦情解決システム
事前課題 ↓	③事前課題 サービス管理・経営系科目 I 提出期限：11月18日（日）持参 ★事前課題シート①（様式①） ①事故とヒヤリハットの違いについて、自身の実践と照らし合わせて説明しなさい。 ②リスクマネジメントについて、自身の実践と照らし合わせて説明しなさい。 ③第三者委員と第三者評価の違いについて説明しなさい。 ★事前課題シート②（様式②） 所属組織における苦情・自己・インシデント・ヒヤリハットが発生時の対応方法（マニュアル）について調べてください。 ★事前課題シート③（様式③） 所属組織の苦情対応委員会について調べる。 第三者委員の関わりを調べる。 ★事前課題シート④（様式④） 委員会で決定した事項の周知方法について所属組織で工夫している点を調べる。			
8 日目	11月18日（日） 9：30～17：00	クローバープラザ 501 研修室 （春日市）	サービス管理・ 経営系科目 I	○事例検討
↑ 事後課題	④事後課題 サービス管理・経営系科目 I 提出期限：12月21日（金）（メール・郵送必着） ★①講義・演習で学んだ「苦情対応からサービス改善への一連の流れ」を参考にして、苦情が発生した後の対応について、対応の働きかけ先・方法・役割分担（担当者）と対応時期等をレポートにまとめなさい。 ★②講義・演習を通して学んだことを参考にして、所属組織でサービス管理・サービス改善等を行う場合の課題について、800～1200字程度でまとめる。			
9 日目	12月9日（日） 9：30～17：00	クローバープラザ 501 研修室 （春日市）	地域開発・ 政策系科目 I	○地域における福祉活動の実際 2
↑ 事後課題	⑤事後課題 地域開発・政策系科目 I 提出期限：2月1日（金）（メール・郵送必着） ★①中間課題で作成した企画シートに対して、2日目の演習で助言された「より良くするための工夫」を参考に、企画シートの修正を行い「完成版」を作成してください。 ★②修正した「企画シート」をもとに、企画を具体化するための今後の方向性について500字程度でまとめてください。 ★③企画の具体化や、地域課題を解決するにあたり、あなたが所属する組織に求められている課題や今後の方向性について1200～1500字程度でまとめてください。			

開催回	予定日程	予定開催場所	科目	テーマ
事前課題 ↓	④事前課題 人材育成系科目 I 提出期限：1月13日(日) 持参 ★「様式第1号スーパーバイザーの自己チェックシート」を使用し、ご自身の状況について記入してください。記入方法をよく読み記入してください。ご自身を振り返る良い機会です。評価の理由等も記入してください。			
10日目	1月13日(日) 9:30~13:30	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	人材育成系科目 I	○スーパービジョンのモデルセッション
事前課題 ↓	⑤事前課題 人材育成系科目 I 提出期限：2月3日(月) 持参 ★①あなたの日頃の取り組みを振り返って、自己チェックシートを記入してください。また、「組織の中において」「援助者として」それぞれについて、課題と思っているところを具体的に書いて下さい。最後に全体を記入してみて気付いたことを簡単に書いて下さい。 ★②職場の研修プログラムについて企画・内容が分かるように整理をしたものを用意してください。(所属する職場の研修体系などをほかの人に説明をすると仮定して説明資料を整理してください。1.現状、2.よい点・工夫している点、3.課題と思われる点についても整理してください。なお、参考となる資料があれば持ってきてください。職場で研修体系等が整備されていない場合、あなたはどのように研鑽を積んでいるか説明してください。研修対象者はおおむね1から3年目の職員を想定してください。) また、職場を紹介するためのパンフレット等をご持参ください。 ☆現在職についていない場合は、過去に働いていた職場について整理をしてください。 ☆これまで働いた経験がない場合は、どこで働きたいか、どんなワーカーになりたいか、それにはどのような研鑽を積んでいけばよいと思うかを記述してきてください。			
11日目	2月3日(日) 9:30~17:00	クローバープラザ 501 研修室 (春日市)	人材育成系科目 I	○新人教育プログラム
↑ 事後課題	⑥事後課題 人材育成系科目 I 提出期限：3月1日(金)(メール・郵送必着) ★「新人教育プログラム」における講義や演習を踏まえて、人材育成系科目 I の科目修了レポートを作成して下さい。			

※事前・事後課題内容は、変更となる場合もあります。詳細は、基礎研修開始後にご案内します。

事務局欄

受付 No	受付日	振込日	備考

申込日 2018 年 月 日

福岡県社会福祉士会 行
FAX 092-483-3037

2018(平成30)年度 基礎研修Ⅲ 申込書

(ふりがな) 氏名				性別	男・女
生年月日	西暦 年 月 日				
会員番号			社会福祉士登録番号		
入会年	西暦 年		資格取得年	西暦 年	
自宅住所	〒 電話番号 () —				
日中の連絡先	(携帯・自宅・職場) () —				
勤務先名					
勤務先 (住所・電話)	〒 電話番号 () —				
所属先属性 ※該当するものを○で囲んでください	A. 高齢者施設関係(特養、老健、有料及びデイサービス) B. 医療・保健・福祉関係(病院、診療所など) C. 障がい者関係(施設、通所、就労支援など) D. 地域包括(包括支援センター、居宅ケアマネ含む) E. 児童関係(児童相談所、施設、子育て支援等) F. 低所得、ホームレス関係(行政生保SW含む) G. 行政機関、社会福祉協議会(地域・後見センター等) H. 教育機関(専門学校、大学などの教員等) I. その他()				
社会福祉士としての 実務経験の有無	有・無		社会福祉士としての 実務経験年数	年	
これまでの相談援助専門職 としての実務経験の有無	有・無		左記における 実務経験年数	年	主な職名 ()

※これまでの実務経験内容が、社会福祉士及び相談援助専門職としての職務かどうかは、ご自身の判断で差支えございません。

基礎研修Ⅲ受講にむけての 抱負など(任意)	
--------------------------	--

 私は、福岡県社会福祉士会が主催する 2018 年度基礎研修Ⅲを受講します。
(□にチェックを入れて下さい)

※記載している個人情報は、本研修会目的以外で使用することはごさいませ